

【取組内容①】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実に向けた授業におけるICT活用①

5年生による授業実践 国語科「みんなが過ごしやすい町へ」（光村図書）

ねらい

総合的な学習の時間と関連させて、まちの中でみんなが過ごしやすいようになるための工夫について報告する文章を引用を用いて書くという言語活動を通して、引用して自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することをねらいとしている。

自己の課題解決のための時間の確保



自分の報告文を見直して修正したり、足りない情報を再度収集したりするなど、児童の課題意識や必要感に合わせて活動できる「ときめきタイム」の時間を授業時間内に確保することで、個別最適な学びへの足掛かりとした。

ジャムボードの活用

報告する文章を書くポイント（観点）に沿って、一人の報告する文章をグループで推敲していく際に、ジャムボードを活用し、友達の文章を読んで考えたことを共有するとともに、他者のアドバイスをジャムボード上で整理し蓄積することができるようにした。



読み上げ機能を用いた推敲



タブレット端末の読み上げ機能や録音機能を使って、自分の書いた文章を音声で読み直し、子供自身で推敲のポイントに沿って文章を修正できるようにした。

授業実践による成果と課題

成果

- ・「ときめきタイム」を設けたことで、子供自身の課題意識に合わせて、文章の推敲を行うことができ、個別最適な学びへとつながった。
- ・ICT活用によって子供の思考が整理され、考えの変容や深まりへとつながった。

課題

- ・ジャムボードを用いた話し合いでは、「ジャムボードに考えを出す」「ジャムボードを見ながら話し合う」「ジャムボードの付箋を整理する」という段階を追って子供が進められるように指導が必要。

【取組内容①】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実に向けた授業におけるICT活用②

6年生による授業実践 国語科「みんなで楽しく過ごすために」（光村図書）

ねらい

運動会の表現演技、団体競技をどんなものにするか、「主張・理由・事例」をもとに話し合う活動を通して、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたり深めたりすることをねらいとしている。

総合的な学習の時間や学校行事と関連付けた一人一人の課題設定

総合的な学習の時間で、運動会の表現演技、団体競技について話し合う課題意識をもたせるために、パワーポイントを活用した。また、表現演技、団体競技のどちらについて話し合いたいかを選択させ、子供たち一人一人が課題設定を行えるようにした。教科横断的な視点での単元づくり、子供一人一人の課題意識に合わせた課題設定を行うことで「個別最適な学び」「協働的な学び」の充実を図った。

Googleスプレッドシートを使った振り返り

振り返りの充実を図るため、Googleスプレッドシートを活用した。話し合いに参加した子供、その話を観察した子供、それぞれの立場から話し合いを振り返り、全員が同一シートで編集を行うことで、振り返りの共有を図った。学力低位の子供への支援、自身の考えの変容に気付くことにつながった。

氏名	意見	感想	質問	回答
山本 大	表現演技は、ダンスや音楽を取り入れたらいいと思います。	ダンスや音楽を取り入れたら、観客も楽しそうだと思います。		
田中 花	団体競技は、バレーボールがいいと思います。	バレーボールは、観客も応援しやすいと思います。		
佐藤 誠	表現演技は、劇がいいと思います。	劇は、観客も面白そうだと思います。		
鈴木 美	団体競技は、サッカーがいいと思います。	サッカーは、観客も応援しやすいと思います。		
高橋 健	表現演技は、ダンスがいいと思います。	ダンスは、観客も楽しそうだと思います。		
伊藤 莉	団体競技は、バスケットボールがいいと思います。	バスケットボールは、観客も応援しやすいと思います。		
渡辺 拓	表現演技は、音楽がいいと思います。	音楽は、観客も楽しそうだと思います。		
森田 希	団体競技は、テニスがいいと思います。	テニスは、観客も応援しやすいと思います。		
山崎 悠	表現演技は、ダンスと音楽の組み合わせがいいと思います。	ダンスと音楽の組み合わせは、観客も楽しそうだと思います。		
佐々木 莉	団体競技は、バレーボールとサッカーの組み合わせがいいと思います。	バレーボールとサッカーの組み合わせは、観客も応援しやすいと思います。		

授業実践による成果と課題

成果

- 総合的な学習の時間や学校行事との関連を図ることで、児童の課題意識を高め、一人一人が自身の学習課題を明確に持つことができた。
- Googleスプレッドシートでの同一シートの共同編集機能を用いることで、振り返りの共有・充実を図ることができた。

課題

- 話し合い活動では、話し合った内容が目で見える形で残らないため、そこでICTをうまく活用できる方法を模索したい。

最後の小学校生活…
みんなの思い出に残るように
表現と競技…
先生たち一生懸命、考えました。

表現

みんなで心を一つに…

ラジオ体操第一

団体競技

本気の汗と涙を…

20分間マラソン

アイエー！

カチンカチン！

どうでしょう？

小学校生活最後の運動会
表現と競技をみんなで
話し合ってお考えませんか？

表現 みんなの思い出に残るように
考えてみましょう！

団体競技

リーディングDXスクール事業【実践事例】

広島市立牛田小学校（広島県）

【取組内容③】 端末の日常的な持ち帰りに向けた準備・環境づくり①

ねらい

タブレット端末を日常的に持ち帰ることのできる環境を整え、児童が文房具の一つとしてタブレット端末を普段使いできるようにする。

持ち帰り同意書の配付

日常的な端末の持ち帰りに伴い、端末持ち帰りのねらいや持ち帰りのルール、充電器の貸出の有無を記載した同意書を保護者に配付した。

必要な家庭には充電器を配付し、端末持ち帰りの環境づくりを行った。

端末持ち帰りに向けた校内研修

校内研修で家庭学習で端末を使う意義を確認したり、端末を使った学習課題（宿題）についての情報を教職員間で共有をしたりする機会を設けた。

持ち帰り事例をスプレッドシートで共有したことで、他学年の取組を把握し、自分の学年に生かすことができた。

	A	B	C	D
1	持ち帰りの具体的な案			
2	学年	教科	Wi-Fi	具体的な課題例
3	1年	国語	…不要(提出は、必要)	音読(3行くらい)を動画で録音、何回とってもよい。一番いいのをオウリンク(クラスルーム)で提出。
4	2年	国語・生活	…どちらでも可	ドキュメントで自分のたからものについて紹介文を書く。
5	2年	国語・生活	…どちらでも可	ドキュメントで動物についてのしようかいを作成
6	2年	生活	…必要	iOS地図アプリで近くの公共施設の位置を確認
7	2・3・4年	国語・生活	…不要	メモアプリで四季をテーマに絵か作文を描く
8	2～6年	国語	…どちらでも可	ドキュメントで読んだ本の感想文作成
9	3～6年	国語	…どちらでも可	ドキュメントで今日の日記を書く。(友達が読むことを事前に伝えておく)
10	全学年	学活	…どちらでも可	時間割を写真に撮ったり、スプレッドシートで配信して家で確認する。
11	3年～6年	全教科	…どちらでも可	問題をドキュメントで配信し、オフラインでも使えるようにしておく。→家でノートに書いて解いたものを写真で提出→事前にクラスルームで提出する。Wi-Fi環境のない児童は学校に来てから提出する。
12	低学年	図工	…不要	メモアプリで〇〇の絵を描く

	A	B	C
3	4年生宿題内容		
4	教科	Wifi	内容
5	総合		調べ学習 スライドやドキュメントにまとめる
6			発表動画を撮る。→クラスで発表する練習自分で見返す
7	学活		自己紹介動画を撮る。 テーマを決めて(私の好きな〇〇など) 1分以内
8	社会		都道府県クイズを作る。
9	体育		運動会の練習動画を送って覚える
10	算数		単位見つけ 写真を撮って送る。
11			

各学年でのこれまでの家庭学習での端末利用についてスプレッドシートにまとめ、共有した。

広島市の小学校の情報担当間で共有された資料を校内研修で用いて、端末を使った家庭学習の参考にした。

【持ち帰り家庭学習の具体例】

低学年	計算カードや音読カードの動画を撮影して担任に提出、日常的に運動会ダンスができるよう動画を配信
中学年	社会科のまとめスライドづくり、児童がダンス練習動画を撮影し、担任に提出
高学年	運動会の振り返りをスプレッドシートの行動編集機能を使って書きこむ、授業の事前アンケートをフォームで取り、活用（道徳や社会科）

リーディングDXスクール事業【実践事例】

広島市立牛田小学校（広島県）

【取組内容③】 端末の日常的な持ち帰りに向けた準備・環境づくり②

》》》 段階的な持ち帰りの実践

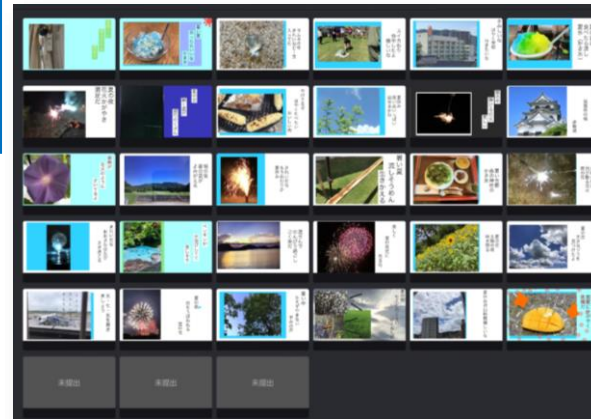
夏休み全学年で統一の家庭学習「夏休み★思い出フォトコンテスト」

（学年の発達段階に合わせて）

6・7月 週末課題で持ち帰り

8月 長期休み全学年持ち帰り

9月以降 日常的な持ち帰りの実施



長期休みに端末活用を推進するため、全学年「夏の思い出」をテーマに写真と俳句をタブレット端末で提出。休み明けにGoogleフォームで投票を行い、学年1位を決めて、校内に掲示した。

》》》 端末持ち帰りによる成果と課題

成果

- ・欠席や学級閉鎖などの際に、時間割や課題の配信に活用したことで、業務の効率化を図ることができた。
- ・授業内容の延長として家庭学習を捉えることができるようになった。
- ・児童が授業で疑問に思ったことを積極的に調べたり、興味関心に合わせてやりたいと思ったことに取り組んだりすることができた。

課題

- ・持ち帰りの同意をしない家庭への別課題の準備。
- ・端末を持ち帰ることにより、児童の荷物が増える。
- ・端末を家庭学習の目的以外で使用する児童がいる。
- ・端末を忘れる、充電をし忘れる児童がいる。

○全家庭へ持ち帰りを推奨する

○家庭学習事例の積み上げを行い、学年の事例を共有する

○家庭でのタブレット端末使用のルールづくり、周知を行っていく

リーディングDXスクール事業【実践事例】

広島市立牛田小学校（広島県）

【取組内容④】 研修での活用方法、業務改善に向けて①

ねらい

ペーパーレス化を進めるとともに、教職員間での情報共有を円滑に行うとともに、業務の効率化を図る。

Google Jamboardを活用した校内研修

校内授業研修において、ジャムボードで協議会のグループ分のシートを作成し、それぞれの気付き改善案等を付箋に書き出しながら協議を行った。全体協議の際には、各グループのシートを見ながら全体交流を行い、情報共有を図った。

成果と課題

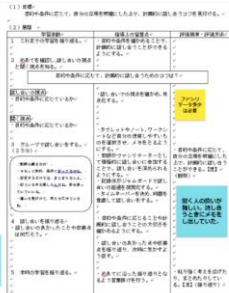
- ◎ 全員で同じシートを見れるため、共有がしやすくなる。
- ◎ これまで拡大した紙で行っていたが、データにすることで保存でき、見返すときに煩雑にならなくてよい。
- ▲ 複数人で作業するため、反応が遅くなることもある。



テーマ設定が良かった

視覚的に話し合いやすいツールが良かった

個人や少人数での作業が、大人数での作業よりもスムーズに進んだ



Google Formsを用いたアンケートや反省

教職員に向けたアンケートや校内研修の振り返り、児童を対象としたアンケート（携帯スマホアンケート、学校生活振り返りアンケート等）をGoogle Formsで行った。

成果と課題

- ◎ 集計にかかる時間が短縮できた。
- ◎ 印刷する手間が省け、紙の使用量も減った。
- ◎ 配付が楽。
- ▲ 慣れていないと作成に時間がかかる。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

広島市立牛田小学校（広島県）

【取組内容④】 研修での活用方法、業務改善に向けて②

校内外活用シートの作成

「校内活用シート」というGoogleスプレッドシートを作成し、学年ごとにICT活用に関する実践を蓄積・共有できるようにした。シートに記入する内容としては、教科や使用したICT機器・コンテンツ、活動内容・活用場面、資料等があり、実践者が記入する。

成果と課題

- ◎ 多様な活用の仕方になれることができる。
- ◎ 研修会を持たなくても活用法を共有できる。

校内ICT活用シート 作成者()	
活用場面	教科(1年 国語科)
単元名/内容	おばさんと おばあさん
めあて・目的	オ列長音の使い分けができるようになる。
使用したICT機器・コンテンツ	オクリング
主な学習内容/活用場面	ICT機器活用のポイント
活動内容 活用場面	<p>①おばあさん「おばあさん」の読みを教える。</p> <p>②教科書を見て「おばあさん」の読みを教える。</p> <p>③おばあさん「おばあさん」の読みを教える。</p> <p>④おばあさん「おばあさん」の読みを教える。</p> <p>⑤おばあさん「おばあさん」の読みを教える。</p> <p>⑥おばあさん「おばあさん」の読みを教える。</p> <p>⑦おばあさん「おばあさん」の読みを教える。</p> <p>⑧おばあさん「おばあさん」の読みを教える。</p> <p>⑨おばあさん「おばあさん」の読みを教える。</p> <p>⑩おばあさん「おばあさん」の読みを教える。</p>
活用効果	<p>①おばあさん「おばあさん」の読みを教える。</p> <p>②おばあさん「おばあさん」の読みを教える。</p> <p>③おばあさん「おばあさん」の読みを教える。</p> <p>④おばあさん「おばあさん」の読みを教える。</p> <p>⑤おばあさん「おばあさん」の読みを教える。</p> <p>⑥おばあさん「おばあさん」の読みを教える。</p> <p>⑦おばあさん「おばあさん」の読みを教える。</p> <p>⑧おばあさん「おばあさん」の読みを教える。</p> <p>⑨おばあさん「おばあさん」の読みを教える。</p> <p>⑩おばあさん「おばあさん」の読みを教える。</p>

資料等のドライブへの移行

これまで学校用サーバーに保存していたデータを、Googleドライブへ移行し、保存するようにした。

成果と課題

- ◎ いつでもどこでも資料を見れる。
- ◎ 共同編集ができる。
- ◎ 印刷する手間や資源の削減ができる。

Google Classroomを掲示板代わりに活用

全教員を招待したクラスをGoogleClassroomで作成し、暮会等で共有していた情報を、ストリームに投稿し、情報を共有できるようにした。

成果と課題

- ◎ いつでもどこでも資料を見れる。
- ◎ 通知がタブレット上に出るため、見落としが減る。

今後に向けて

- 校内活用シートを用いて、教職員間でICTを使った実践や活用方法を共有し、更なる効果的なICT活用を目指す。
- Google for educationの各種ツール（Googleカレンダー、Googleチャット等）を用いて、更なる業務の効率化を図る。
- 来年度に向けて、紙媒体での学校プリントの配付廃止を目指す。

【取組内容②】 外部講師による参観懇談出前講座

ねらい

GIGAスクール構想について保護者に理解してもらうとともに、日常的な持ち帰りをを行う上で、家庭を巻き込んだルール作りを行うことをねらいとした。

親子で学ぶ情報モラル

1年生を対象に、情報モラルの動画を制作しているメーカー、大学の先生をお招きし、タブレット学習を進めるにあたって気を付ける点について授業と講演をしていただいた。情報機器の活用場面を振り返ったり、家庭での活用ルールを保護者と児童と一緒に考える時間となった。懇談会では、なぜ今情報モラルが大切なのかや、情報端末を活用したこれからの学びについて講演していただいた。

成果と課題

- ◎ 保護者と一緒に活用について考えることができた。
- ◎ 持ち帰りを進めるうえで家庭と意識統一が図れた。
- ◎ 1年生の段階で行うことがよかった。
- ▲ タブレット学習が始まる4月の最初の参観懇談で行うほうがよい。
- ▲ 費用がかかる。



今後に向けて

- 1年生だけでなく、すべての学年で取り組む。（全学年4月最初の参観懇談）
- 参観懇談に限らず外部講師を招き、正しい知識を子供たちに習得させる必要がある。